＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	YOSHINO-木の家つくりの会
グループの名称	Beaver’s
直近採択グループ番号	06-0507-0549

（グループ代表者）

代表者名	松本　良平　代表者印
代表者所属先	一般社団法人Beaver’s
代表者所在地	京都府京都市西京区大原野上里南ノ町354-5
代表者電話番号	075-205-5231

（グループ事務局）

事務局事業者名	一般社団法人Beaver’s
事務局担当者名	船越　裕司　印
事務局郵便番号	610-1123
事務局所在地	京都府京都市西京区大原野上里南ノ町354-5
事務局電話番号	075-205-5231
事務局FAX	075-335-5088
事務局担当者E-mail	info@beaver-s.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	YOSHINO-木の家つくりの会
２．グループの名称(必須)	Beaver's
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0507-0549
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、三重県、滋賀県、徳島県、香川県
５．結成年(必須)	2015　年
６．グループ代表者名(必須)	松本　良平
７．グループ代表者の所属先(必須)	一般社団法人Beaver's
８．グループ代表者所在地(必須)	京都府京都市西京区大原野上里南ノ町354-5
９．グループ代表者電話番号(必須)	075-205-5231
１０．グループ事務局事業者名(必須)	一般社団法人Beaver's
１１．グループ事務局担当者名(必須)	船越　裕司
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	610-1123
１３．グループ事務局所在地(必須)	京都府京都市西京区大原野上里南ノ町354-5
１４．グループ事務局電話番号(必須)	075-205-5231
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	075-335-5088
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	info@beaver-s.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	3	
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	2	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	2	
Ⅳ．プレカット	2	
Ⅴ．設計	2	
Ⅵ．施工	6	
Ⅶ．木材を扱わない流通	0	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
Ａ．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外
	杉・檜	奈良県	奈良県産材認証制度	0	国内

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		20	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	20	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	5	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	2	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		20	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	20	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	5	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	2	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		10	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	5	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	5	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		10	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	10	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	5	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	2	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	2	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	2	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	2	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	80	棟	
			2400	㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	10	棟	
			300	㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	各構成員から申請のあった順に配分する。

E．平成２９年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）									
	採択戸数	7	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸	
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）									
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸	
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）									
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸	
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）									
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸	
	優良建築物型									
	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0	戸	
	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	0	㎡	

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
29	Ⅰ － 1	吉野木材協同組合連合会		639-3111	奈良県吉野郡吉野町上市2294-1	0746-32-2233
29	Ⅰ － 2	桜井木材協同組合		633-0091	奈良県桜井市桜井287-1	0744-42-3535
34	Ⅰ － 3	ひろしま木材事業協同組合		737-0134	広島県呉市広多賀谷3-1-1	0823-71-7141
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅱ＞

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
34	Ⅱ － 4	中国木材株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3-1-1	0823-71-7141
29	Ⅱ － 5	阪口製材所		639-3114	奈良県吉野郡吉野町丹治113	0746-32-2310
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
29	Ⅲ － 5	阪口製材所		639-3114	奈良県吉野郡吉野町丹治113	0746-32-2310
27	Ⅲ － 6	株式会社イワイ		569-0053	大阪府高槻市春日町15-18	072-671-5555
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
34	Ⅳ － 7	中国木材株式会社 郷原工場		737-0161	広島県呉市郷原町字一ノ松光山626-2	0823-77-2223
29	Ⅳ － 8	株式会社奈良木建		630-8145	奈良県奈良市八条5-430-1	0742-33-6332
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －				

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
27	Ｖ － 9	株式会社建築工房en		590-0503	大阪府泉南市新家２００３	072-482-2000	○	
26	Ｖ － 10	一般社団法人Beaver's		610-1123	京都府京都市西京区大原野上里南ノ町354-5	075-205-5231	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －					

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							6	○	○
27	Ⅵ - 9	77138	株式会社建築工房en		590-0503	大阪府泉南市新家2003	072-482-2000	○	
28	Ⅵ - 11	77895	船越工務店株式会社		656-0313	兵庫県南あわじ市松帆志知川621	0799-36-3244	○	
27	Ⅵ - 12	77474	有限会社高山工務店		579-8063	大阪府東大阪市横小路町四丁目6番20号	072-984-3773	○	
26	Ⅵ - 13	76684	株式会社松彦建設工業		610-1121	京都府京都市西京区大原野上里北ノ町1228－7	075-335-5077	○	
29	Ⅵ - 14	78181	奈良県木造住宅総合研究所		639-3114	奈良県吉野郡吉野町丹治38－1	0746-32-5711	○	
29	Ⅵ - 15	78144	榊本工務店		639-2164	奈良県葛城市長尾74－1	0745-48-4309	○	
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
27	Ⅵ－ 9	77138	株式会社建築工房en	1 戸	2 戸	1 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下			
28	Ⅵ－ 11	77895	船越工務店株式会社	5 戸	5 戸	1 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
27	Ⅵ－ 12	77474	有限会社高山工務店	5 戸	3 戸	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下		○	
26	Ⅵ－ 13	76684	株式会社松彦建設工業	8 戸	8 戸	4 戸	4 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下		○	
29	Ⅵ－ 14	78181	奈良県木造住宅総合研究所	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
29	Ⅵ－ 15	78144	榊本工務店	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡		

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称） YOSHINO-木の家つくりの会	（地域型住宅供給対象地域） 大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、三重県、滋賀県、徳島県、香川県
2．グループの名称・結成年（必須）	（グループの名称） Beaver’s	（結成年） 2015　年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号（必須）	06-0507-0549	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・吉野材を中心とした国産材の美しさと素晴らしさを実感しながら、日々快適に暮らせる住まいを提案します。建設場所は奈良に限らず、都市部を含めた近畿圏および四国の一部です。 ・窓を閉めれば断熱性能が高く冷暖房効率が良く、窓を開ければ風が通るような家で、四季を通して快適に暮らせる住まいを提案します。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・建物のどこかで仕口・継ぎ手などの、手加工技術を活用します。また、若い職人に手加工技術を、教育・継承します。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・仕上げに無垢材が見え、また木の肌合いや香りを感じることができること、としています。できるだけ軒の出を深くして、もしくは外壁材を耐久性の強いものとし、台風や風雨に耐える建物とします。	○
④ ①～③の背景	・木の肌合いや、香りを大切にした天然乾燥材にこだわる吉野の木材業者グループを中心に、その他 その思いに共感する設計者や施工者など、原木供給から設計・施工までのメンバーが連携し、家づくりを行っていきます。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・下地材や仕上げ材にも、吉野材を中心とした国産材をできるだけ使用することとしています。	○

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・商品化により、寸法を規格化しています。	○
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・商品化により、使用建材は統一されています。	○
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・商品化により、標準仕様の設定をしています。	○
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・商品化により、建材・資材調達の共同化をしています。	○
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・商品化により、調達事務の合理化を図っています。	○
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・Beaver’s 事務局が中心となり、効率的な住宅生産体制を整備していきます。	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：・メールやLINEなどを活用し、各構成員が行っている現場の情報を共有するように促していくことです。	○
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：・グループ内で定期的に、施工基準について話し合いの場を設けます。また、お互いの情報交換を、メールやLINEなどで活発化させていきます。	○
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：・グループ内で定期的に、検査ルールについて話し合いの場を設けます。また、お互いの情報交換を、メールやLINEなどで活発化させていきます。	○
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容：・グループ内で定期的に、見積・積算のルールについて話し合いの場を設けます。また、お互いの情報交換を、メールやLINEなどで活発化させていきます。	○
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容：・構造見学会や完成見学会を実施し、着工から完成までの透明性を確保していきます。	○
c	① 週休2日制の導入の取組	□ ない	■ ある →	内容：土日イベント等で出勤の場合などは平日に振替休日を確保しています。	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある →	内容：資格者には資格手当を支給しています。	○
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある →	内容：社会保険に加入しています。	◎
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある →	内容：定期的にグループ全体で安全衛生会議を行い、体験談のどの公表をする事で、意識を高めています。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。					

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）YOSHINO-木の家つくりの会	（地域型住宅供給対象地域）大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、三重県、滋賀県、徳島県、香川県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）Beaver’s	（結成年）2015 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0507-0549	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：・業務進行表と設計図書を、お客様、工務店、Beaver's 事務局の3者で一定期間保管していきます。	○
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：・業者のコンサルティングシステムに加盟し、一定の情報を得ています。	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：・PCソフトを活用し、Beaver's 事務局で管理しています。	○
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：・住まいの手引きを活用します	○
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：・住まいの手引きを活用します	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：・住まいの手引きを活用します	○
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	■ ない	□ ある →	内容：	
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：・OB会を結成し、感謝祭や完成見学会などのイベント案内を送ることで、情報を途切れさせないように努めます。また、京都サロンなどで定期的に、各種セミナーやイベントも実施していきます。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	■ ない	□ ある →	内容：	
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：・年点検を実施します。その際に発見した不具合は、構成員の勉強会で発表するなど、しっかりと共有していきます。	○
	⑤	その他の維持管理の手法	■ ない	□ ある →	内容：	
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：・工事を引き継ぎやすいように、日頃から現場やお客様とのやり取りなどの情報共有を、しっかりとしていきます。また、良質な専門業者の情報も、きちんと共有していきます。	○
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	■ ない	□ ある →	内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。						

エ．グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：・メールやLINEなどを活用し、常に現場やお客様の情報をオープンにしたり、定期的な勉強会や共有会を行い、技術の伝承や共有を行っていきます。	○
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：・構成員の知識と技術向上のために、都度 各工事現場での反省会や勉強会を実施し、情報の共有化とレベルの底上げを行います。	○
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：・巡回日を設けて、Beaver's の職員が現場を点検しに回ります。	○
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：・構造見学会や完成見学会のほか、様々なイベントやセミナーなどを共同で開催することで、継続的に情報を発信していきます。	○
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：・供給対象地域での、工務店と職人の育成を目指しています。	○
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	■ ない	□ ある →	内容：	
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 6		今年度の参加目標人数 0	○
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 0		今年度の参加目標人数 1	○
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	■ ない	□ ある →	内容：	
c	①	新たな技術等の導入	■ ない	□ ある →	内容：	
	②	新たな技術等の開発	■ ない	□ ある →	内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。						

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－３＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）YOSHINO-木の家つくりの会	（地域型住宅供給対象地域）大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、三重県、滋賀県、徳島県、香川県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）Beaver’s	（結成年）2015 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0507-0549	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	・歩留まりをよくして、山にお金が戻るように、構造材に吉野材を中心とした国産材をできるだけ使用し、下地材や羽柄材もできるだけ吉野材を中心とした国産材を使用すること とします。 ・杉、檜に限定することなく、地場の桜や槇・栂など、適材適所の樹種を選択します。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　□ 50%以上　■ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：□ 使用していない　■ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：□ 使用していない　■ 使用している 板材　壁板、床板等：□ 使用していない　■ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	・地域材の流れ 山・組合(原木) → 製材 → プレカット → 現場	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	■ ない　□ ある →　内容：	
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：・Beaver’sで商品を創ったため、価格は統一化されています。	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-3 襖の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-4 障子の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：・和紙や漆喰材などを、要望に合わせて採用していきます。	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：・家づくりのプランを、将来に継承できるような計画をしています。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：・地域の風土や気候に応じた、家づくりの取組みを行っています。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称） YOSHINO-木の家つくりの会	（地域型住宅供給対象地域） 大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、三重県、滋賀県、徳島県、香川県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称） Beaver’s	（結成年） 2015 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0507-0549	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

・認定低炭素住宅
当グループは長期優良住宅を優先的に建設しますが、都市部において狭小地での建築（床面積が条件に合わない住宅）を要望される場合があります。その際は認定低炭素住宅を建設しますが、元々長期優良住宅を標準としているため、認定低炭素住宅であったとしても長期優良住宅と同等の性能基準を満たしています。

・性能向上計画認定住宅
当グループは長期優良を優先的に建設しますが、市街化調整区域において、長期優良住宅ではなく性能向上計画認定住宅の建設を要望される場合に採用します。なお、元々長期優良住宅を標準としているため、認定低炭素住宅であったとしても長期優良住宅と同等の性能基準を満たしています。

・ゼロ・エネルギー住宅
国が掲げる省エネルギー政策では、2020年には「H25省エネ基準」をすべての住宅に義務付ける方針を掲げています。そのため、当グループにおいてもその考え方に重きをおき、ゼロ・エネルギー住宅への取組みを始めています。なお、元々長期優良住宅を標準としているため、ゼロ・エネルギー住宅であったとしても長期優良住宅と同等の性能基準を満たしており、かつゼロ・エネルギー住宅の性能基準を満たすものを建設することと規定しています。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。